

For Adult Only

墮狂 咲夜





今日は
良い茶葉が入って
良かったわ

んっ♪ いい香り
これならお嬢様も
喜んで下さるわ



そうだ お砂糖
切らしてたわね

えっと
確かこの奥に



んっもっと
奥だったかしら

しんっ
しょ……と

あ
った



わかったわ
下がって
ちょうだい

では私は
屋敷の掃除が
ありますので
これで…



…濁りがなく
深みのある味…
さすが咲夜ね
今日のは一段と
美味しいわ

ありがとう
ございます
お嬢様



また何か
ありましたら
お呼び下さい



えっ…
お嬢様？



お嬢様

お嬢様
今パチュリー様を
呼んできま

そんな…大変
早くお薬…いえ
まずパチュリー様に
診てもらわないと



お嬢様
しっかりして
ください！

おっ
お嬢様！



お嬢様！！
お嬢様！！

墮狂
咲夜





隠し部屋



香霖堂



捕まえた玩具が目覚めたみたいですよ 霖之助様

ふむ 思ったより早かったね

本当にこの人間もこちらに加えるの？
きっとすぐに壊れちゃいますわよ

ははは
まあいいじゃないか



で…目覚めの気分はどうかな？
紅魔館のメイド長

十六夜 咲夜

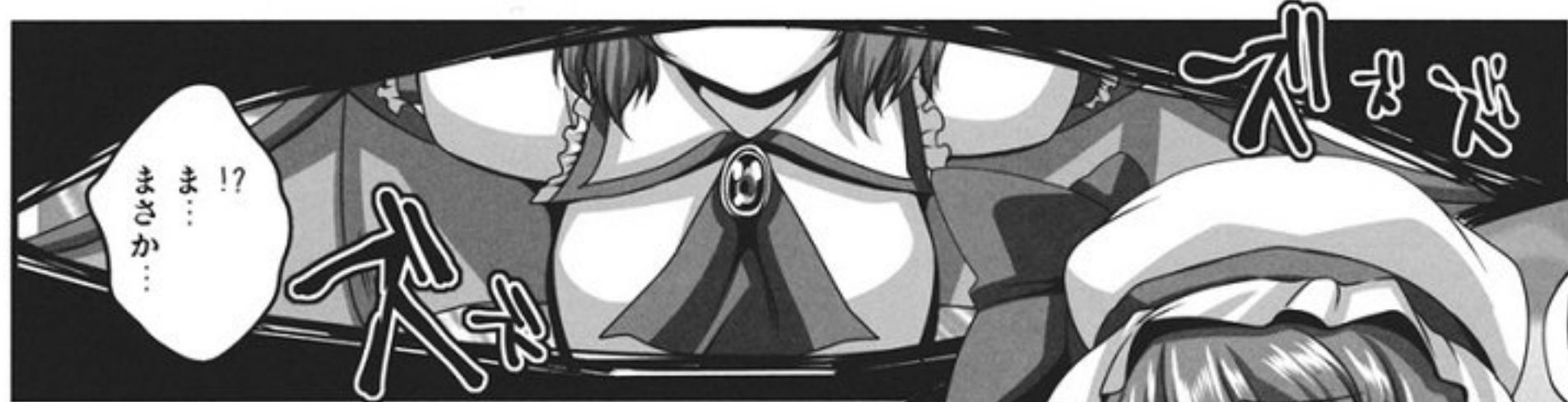
貴方…
香霖堂の…

…まさか…
お嬢様が倒れたのも
貴方の仕業ね

話が早くて助かるよ

君の言うとおり
全て僕の仕業さ

ふざけないで！
お嬢様に一体何をしたのッ！！





出

う……う……

逃……げて……
咲……夜……



そんな!?
お嬢様を置いてなど
いけません!



んー
実に美しい
主従愛だ



だけど
現実には
そんなに
甘くないよ

こちらの細工は
もう終わってる
からね



!?…
な、何!?
能力が…
勝手に発動
して…



あ……ああ……
さ……く……や……
お嬢様!?



ヤ
4
9

なっ!
お、お嬢様!?!
なぜお嬢様が!?!
私は何も!!



君の能力はもう
僕の物なんだよ

なっ、
なんですって!



貴女の力は
私の薬で奪わせて
もらったわ

うふふ
つまりもう
只の小娘って事ね



さあ どうする？
十六夜咲夜



ははっ だが 僕も鬼じゃない
君が僕の メイドになるなら レミリアを 解放してあげるよ

えっ!?



それは本当なの!?!
本当にそれでお嬢様は 助かるんでしょうね!

ああ 一か月間 君が僕の責めに 耐えられたら 君も一緒に解放 してあげよう



違ッ… 私のお嬢様だけ…

メイドが 主人にそんな 口を聞いたら ダメだろう

この話を呑んだ時点で 僕は君のご主人様だ

違うだろうか?

分かったわ それでお嬢様が 助かるのなら 好きにしたら…



んなっ!?!

例え こんな事を されてもね!



そっ それは…

へえ…君は 主人の事より自分の プライドを守る つもりなのかい

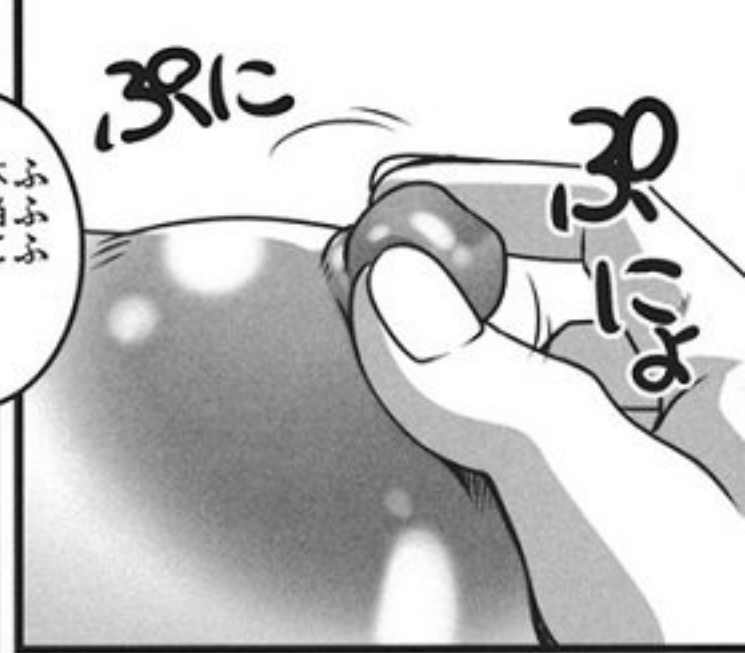


レミリアを 救いたいなら 僕に逆らわない事だ



んあっ
や、やめ…

ふふふ
本当に
いい身体を
している



ぷに
ぷに



そうそう
それで
いいんだよ

れちお



いい加減
そのチャチなプライドを
捨てたらどうだい

ぐっ…

君が拒めば
レミアアが
同じ目に遭う
だけなんだよ



大人しく
股を開いて
全てを
受け入れれば

せめ

ん



男に仕える喜びを
たっぷり身体に
教えてあげるから

しゅん

なんていう…
屈辱…

殺してやる…
全てが終わったら
こいつを必ず
殺してやる

ゴクッ

こんな男に…
その誓いを
穢されるなんて

パル

私の身も心も
お嬢様だけの物と
誓ったのに…

んー
まだ固いなあ
仕方ない

ブル

んぐっ

んんっ!?

何!? 何か
流れ込んで…

キゅッ

な、なんだ…か
頭がポツツと…
あ…れ…

体の奥が…
熱い…

キゅッ

キゅッ

これは…
まさか…
媚…薬?

出ワッ

ふふっ
もう手加も
必要ないな

カッ

出ワッ

はあ

はあ

アッ



ここからは
もっと気持ちよくて
キツイ世界だからね

だけどこんなので
驚いていたら
体が持たないよ

おや君には
ちょっと刺激が
強すぎたかな

だめえええッ！
身体がッ身体が
あああああ

う……あ……
や……やめ……

まあしっかり
ほぐしておけば
なんとか
挿入るだろう

あーでも
君の体には
大きすぎるかな

大丈夫大丈夫
無理でもねじ込むから
精々壊れない様に
頑張ってくれよ

ま……まっれ
そんなの……
入らない

いや……
いやああああ
ああああ!!

ちんぽ



あ……ああ……
気持……ち……
よく……なんて

何言ってるんだい
ほらよく
見てみなよ

処女喪失したばかりなのに
美味しそうにちんぽを
銜え込んでるまんこをさ

あ……ああ……
いや……いや
ちが……う
違うう……



ふうん
そうかい
なら……

薬だけでも
既に膣は
とろとろなんだ

嫌でもイキまくらせて
ちんぽなしじゃ
生きられない体に
してあげるよ

ちんぽで
こねくり回して
もっどどろどろ
にしてやる



ああああ

ヒク



理性なんか早く捨てて快樂に狂ってよがりまくってればいいんだよ!!



そうそう我慢せずに大声で悦べばいいのさ



今日一日で便器まんにこに作り変えるんだ



あれは1日持たないかもしれないわねえ



所詮は人間だもの欲に狂ってすぐに壊れちゃうわ

ああ...でも霖之助様の大きなおちんぼであんなに激しく...

あんな人間の後は私の体で口直ししてもらわないと

だめよ 次は私の番なんだから割り込みは禁止よ



あんな玩具みたいで人間の後なんだからきつといつも以上に激しい夜に...うふふ楽しみだわ

ちょっと何自分だけ楽しもうとしてるの私も混ぜなさいよ3人ならいいでしょ



えっ…
妊…娠…？

ははは
これで君も
子を宿すんだよ
楽しみだろう

中出しをした場合
高確率で孕む物なんだ

さっさの媚薬には
排卵を促す効果も
あってね



いやああああ
やめてえええええ

そうはいっても
君のおまんこが
吸い付いて
離れないんだよねえ

抜いてえええええ
抜いてえええええ

いやああああ
妊娠なんて…ひぐっ
妊娠なんてしたら
もうお嬢様に
仕えられなく
なっちゃうツ



それに…
君が拒むなら
レミアアで
楽しむだけだよ

幼い体つきの
レミアアの痴態か
ははは
考えただけで腰が
止まらなくなるね

さあ…どうする？
僕は別に
レミアアでも
いいんだよ？

く…



く……い

おいおい
それじゃ
聞こえないよ

ほら
もっと
大きな声で

な……
中出し……

中出し……して
……ください

ご主人様の精液
……わ、わたしの
中に……おまんこに
出して……下さい

ははは
よく言ったッ！
活きのいい精子を
たっぷり子宮に
注いでやる!!



ほらほら
さっさと子宮口
開きな

奥の奥まで
犯してやるよ!!



主従の契りだ
たっぷり
受け取れえええ



ふふふ 存分に
僕の精子を子宮で
味わってくれよ

イキながらも
更に締めつけてくるな
このまんこは
まだ射精が
止まらないよ

あ
あ

さて
次はイキ顔を
見ながら
やってやろう

う...ああ...

一度拵げたから
次はすんなり
挿入るはずだ

ほら
吸い込まれる様に
挿入ったぞ

おお...肉ヒダが
絡みついて...
まるでもつと奥へと
誘ってるみたいだ
実に気持ちいいよ

次は入口から奥まで
丹念に引っ掻いて
あげるよ

ほら
膣の入口から

奥までねッ!!





あぁあぁあぁッ!!
お嬢様あぁ
お嬢様あぁあッ

ほらほら
もっとスピードを
あげるぞ

どうだ 膾をぐりぐり
掻き回されるのは
凄く気持ちいいだろう

まだレミリアの事を
考えていられるのか

さぁもっと
激しくいぐぞ

子宮にも
何度でも中出し
してやるッ!!

素晴らしい
実に素晴らしい
メイドだよ
壊し甲斐がある

ははは
壊れるまで
精々楽しませて
くれよ



ひたすら犯され
意識は何度も途切れ
何度絶頂したかも
分からない

押し寄せる快感に
逆らえず浅ましく嬌声を
あげ続ける事しか
私にはできなかった

ふっ……うホント
何回射精しても
飽きないまんこだな



何時間
経っただろうか



部屋には
ベッドがきしむ音と
肌のぶつかり合う
音だけがずっと
響いている



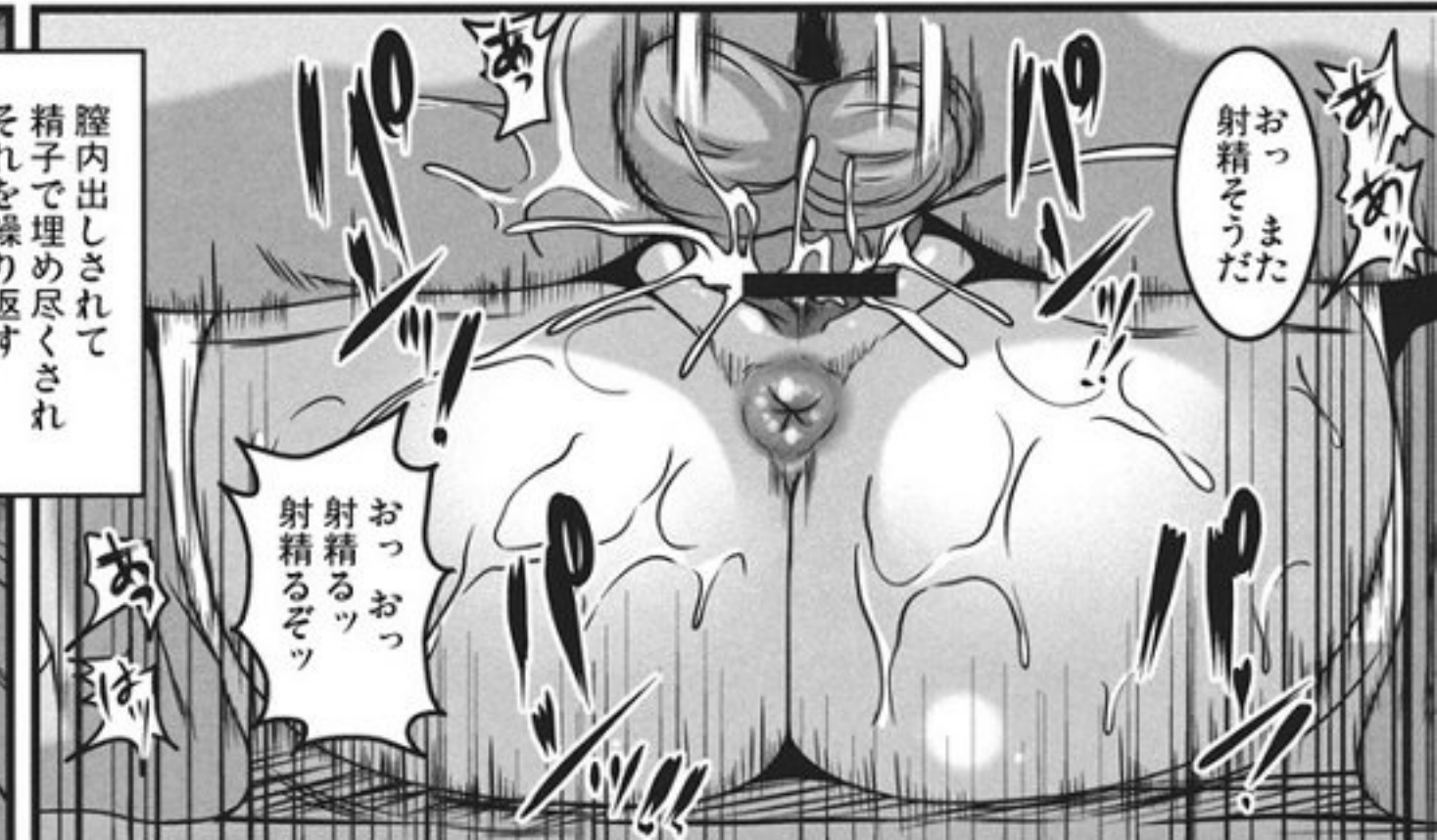
突かれる度に
膣内の精子を
掻き出され

ほら 見なよ
愛液と精液が
混ざり合い
泡を吹いてる様を

あの可愛らしかった
まんこの変わり果てた
姿をさ ははは



膣内出しされて
精子で埋め尽くされ
それを繰り返す



おっ また
射精そうだ

おっ おっ
射精るッ
射精るぞッ

ぐっ…
まだ射精る

私はもう元の生活には
戻れないかもしれない

ふう…

それでもお嬢様だけは
必ず救ってみせる

だからもう少しだけ
待っていてください

また
イツたまま
気絶か…

中出しする度に
飛ぶようになって
しまったな


まんこも
開きっぱなしで
精子が溢れているな

だが、まだまだ
立派な便器に
なるにはもっと
仕込まないとなあ

レミリアが
見てるんだ
情けないところは
見せられないよなあ

さてと…起して
もっと飛ばしてやるか

例えこの身に
代えても
必ず…お嬢
様…を



お嬢様への忠義
その心だけを残し
私の身体は壊されていった



まあ これでも
大分詰め込んだ方が
初めの頃より
大分拡張したしな

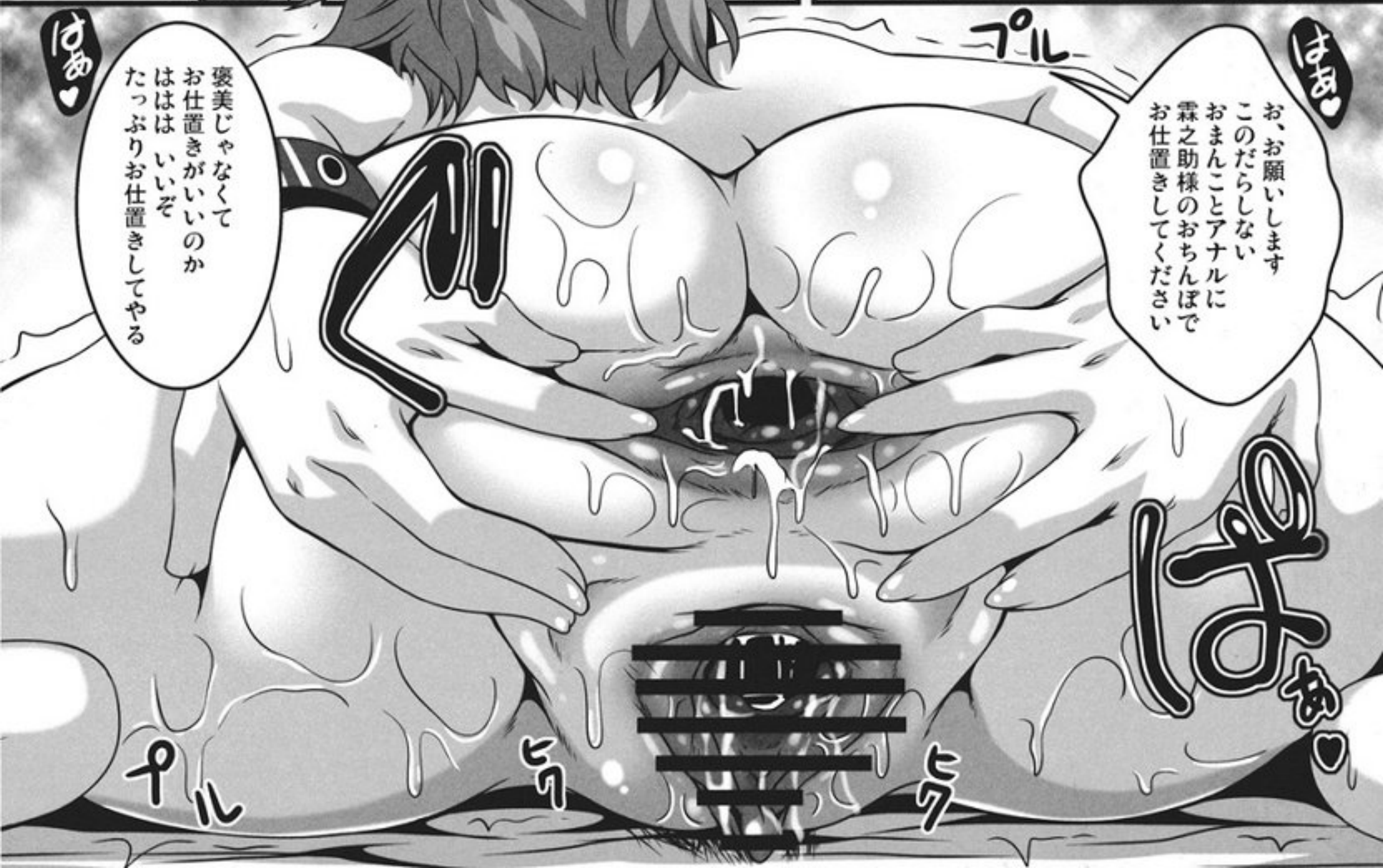
んん
さすがにもう
入らないか

身体の間々まで
弄ばれ 精神的にも
限界だった私は



お嬢様への忠義を
お嬢様が解放される
その時まで
心の奥に隠す事にし

私はこの男 森近霖之助を
一時の主人とすることを
受け入れたのだ



■後書き

こんにちは、サークル「ていらみすたると」の一弘です。
最後まで読んでくださり、本当にありがとうございました。

今回は今まで一番苦労しました。
最初の方で説明どれくらいいいたらいいのかなーとか
いや、そういうのはとんでも能力でごまかしてエロに速攻突入したほうがいいかなー
とか色々考えてこんなん出来ました。(´・ω・´)
途中線画までやってたのをぶん投げてなかったことにしたり、
無駄にページ増やして結局減らしてっていう無駄な事をしたり
・・・いや、これもいい勉強になったな…(´▽`) 適当いくない

ちなみにこれが前編で、そのうち後編を描けたらいいなと思ってます。
もしかしたらないかもしれん (ry
今回は霖之助との1 on 1だったので、次は最後の方にでてきたキモい村人達と
ネチョネチョさせたり、咲夜の能力を使って苛めたりしたいなーとか
夏もまだ未定なのでゆっくり考えていこうかと思えます。
時間あんまりないけど/(^o^)\

それでは、ここまで読んでくださった皆様 本当にありがとうございました。
こんな自分ですがまたお会いする機会がありましたら、よろしくお願いします。

一弘

奥付

誌名	:	墮狂咲夜
発行日	:	2012年 5月27日
発行者	:	一弘
サークル	:	ていらみすたると
印刷	:	サングループ様

<HP> <http://homepage3.nifty.com/thiramisu/>

<Pixiv ID> 165897

東方プロジェクトファンブック

18歳未満の閲覧・購入禁止。無断複写・転載や
WEB上へのアップロード等もお止めください

この恥辱は私の責任

ほほお
この娘が
件の商品かい

ああ
仕込みは既に
済ませてある
これより
一時の間は
君の玩具だよ

ふおふおふお
ちやんと高い金に
見合う良い女
なんだろうね

さーて
お嬢ちゃん
おじさんと
どんな事して
遊ぼうか
ううん?

いいや...
来ないでッ!

たとえ森近霖之助の手で
この身を穢されようとも

身体はすでに堕ちた
後は君が心の奥底に
隠したモノ
次はそれを
壊させて
もらおうか

ほら
怖がらないで
おじさんと
楽しもう

ぬ
ぬ

こう見えて
おじさん上手だから
きつと気持ちいい
時間になるよ

お嬢様に誇れる忠義が
心にある限り耐えられた

お願い...
来ないで...

わ、私は...いい、いや
お願い...だから
やめて...やめっ...

いやああああああ

この日から
私は『商品』になった



ていらみすたると